

今、高校生が考える生成AIとの付き合い方 ―「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考える―

開催地： 宮城

グループ： C班

2024.08.03

10年後の生活とAI

10年後の私達の生活には
どのようにAIが関わっているだろうか



AIと料理ができる !?

生成AIを使えば、献立や、レシピを
考えてくれる。
今日の献立を考えなくて良い。



いきなり！ステーキ



実際に、AIが搭載されていて、
中にある食材を認識して献立を
考えてくれる冷蔵庫。

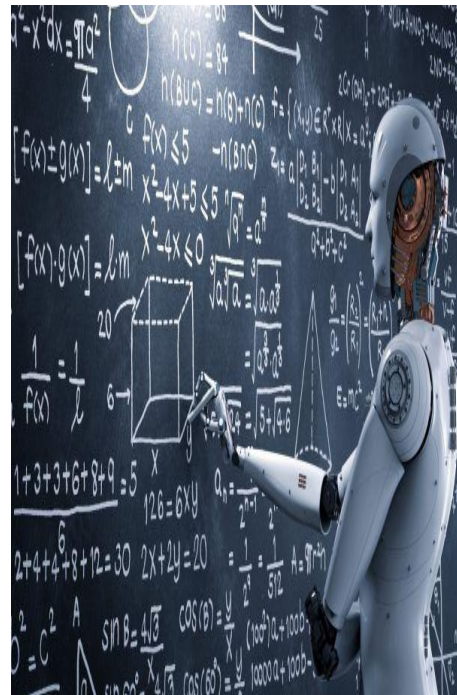
将来、自動で調理してくれる
ロボットが出来上がるかもしれな
い。

学校と生成AI

生成AIは学校でも様々な形で活用されている

そこで...→

年月を重ね生成AIの活用をより増やしていくことにより10年後の学校生活は現代よりも充実させられる



考えた内容は以下の二点である。

①授業内での生成AIの画像活用

②英語の授業での活用



AIと日常管理

ファッション:自分の写真をアップロードしてAIにコーディネートやメイクの案を出してもらう

食事:朝昼晩の食事のプランニング

住まい:家具のレイアウトの案やスマートハウス化

睡眠:睡眠時間の管理

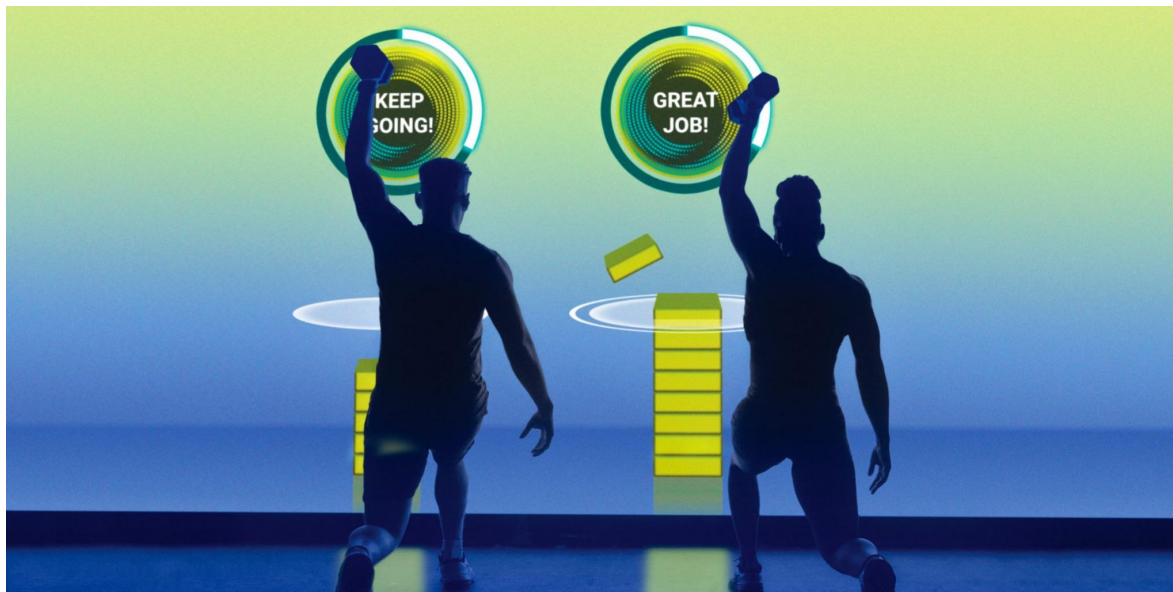
AIは効率的で無理のない日常生活を
プランニング出来る

10年後には...

- 目的地に効率的に到着するナビゲーション
- スマホやパソコンの使用時間の管理
- 離れた家族の活動確認
- 運動や筋トレなどの管理
- 勉強時間や内容の管理
- 仕事の内容をプランニングしプライベートを確保
- 水分補給や休憩を促す

AIにトレーナーとしての役割を

AIにはセカンドオピニオンとしてのAIの活用が便利な面がある



AIとメディア

例えば広告や動画のサムネイルなどを自動で生成できたりするツールはどうだろうか。

現在存在しているツールでサムネイルを作らせた所**実際活用するのはまだ難しい**と感じた。

AIにYouTube用のサムネを
作らせた結果→



10年後にはできるであろう事

①参考画像を読み込む機能

②字を画像内に取り込む機能

③多くの定義に応えられるようになること

これらができる様になればインフルエンサーやマーケティングに起用できる様になるのでは無いか

AIの友達が出来るかも。

会話が出来る対話型人工知能で、
AIと日常会話が出来る。

将来は本当の友達のように
接する事ができるAIが出来るかも。



AIとの共生

将来、私たちの生活の中にAIは深く関わり、より便利な社会になる。

使い方を間違えれば大きなトラブルを引き起こしてしまうかもしれない。

AIに支配されるのではなく、共生する事が大切なかもしれない。

